

黄金色の世界に

小坂
ケイ

辿ってきた道のりが 黄金色に光輝く
辛さも淋しさも 束の間の中の喜びも孤独も
凝縮された一編の詩に生まれ変わり
あなたの生に 再び新しい命を吹き込んでいく
まちがいはなかったはずだ そこに
運命に彩られるように
縁から縁に繋がっていった一つの結び目
人との出会いや喜び
人との別れや辛さがあった そこには
それは全て学びのための術としてのもの
秋深まり
落葉舞う この季節に
くつきりと澄み渡った はるか上空を見上げれば
展開から舞い降りてくる天使達
黄金色に変容した美しい世界
全てが喜びのための
今日に繋がってきた道